



2013年度(2014年3月期)  
第1四半期 決算説明資料

2013年7月31日  
2013年8月9日訂正(\*)  
株式会社 商船三井

HP

(\*)同日付決算短信一部訂正報告ご参照

## 目次

2013年度 第1四半期 連結決算概要	2
2013年度 第1四半期 連結決算の要点	4
2013年度 通期 連結業績予想	6
2013年度 業績予想の要点	8
[ 補足資料 ]	

# 2013年度 第1四半期 連結決算概要

(単位: 億円、億円未満切捨)

	2013年度 1Q実績	2012年度 1Q実績	増減	2012年度 4Q実績
売上高	4,119	3,788	+330	3,897
営業損益	114	△5	+119	△43
経常損益	152	△15	+168	△127
当期純損益	129	△50	+179	△1,201
為替(期中平均)	¥98.81/\$	¥81.34/\$	+¥17.47/\$	¥89.02/\$
燃料単価(期中平均)	\$606/MT	\$695/MT	△\$89/MT	\$631/MT

## ■ 連結 経常損益 前年同期比増減要因分析

【2012年6月期→2013年6月期】

為替変動	+87 億円	当期 ¥98.81/\$; ¥17.47 の円安
燃料油価格変動	+40 億円	当期 \$606/MT; \$89 下落
積取り・運賃変動等	△82 億円	
コスト削減	+75 億円	
持分法投資損益増減	△6 億円	
その他(調整額含む)	+54 億円	
(差し引き)	+168 億円	

## [セグメント別]

上段	売上高
下段	経常損益

(単位: 億円、億円未満切捨)

	2013年度 1Q実績	2012年度 1Q実績	増減	2012年度 4Q実績
不定期専用船事業	1,939 126	1,888 △ 23	+50 +149	1,892 △ 66
コンテナ船事業	1,746 △ 11	1,483 △ 24	+262 +13	1,573 △ 12
フェリー・内航事業	132 0	127 △ 2	+4 +2	126 △ 2
関連事業	282 29	270 29	+12 0	281 20
その他	17 15	17 5	0 +10	22 5
調整 (消去・全社)	- △ 6	- 0	- △ 6	- △ 71
連結	4,119 152	3,788 △ 15	+330 +168	3,897 △ 127

●「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

●不定期専用船事業には、ドライバルク船部門、油送船部門、LNG船部門、自動車船部門の部門業績を含む

●関連事業には、不動産事業の他、客船、曳船、商社、人材派遣業等を含む

## 2013年度 第1四半期 連結決算の要点( I )

### 【概況】

単年度経営計画“**RISE 2013**”利益目標達成に向け着実なスタート。

海運市況は、依然として低調に推移

- ⇔ ・ 市況リスクエクスポージャーの縮小
- ・ 海外市場での事業展開強化..
- ・ 前期「事業改革」費用計上等による損益改善効果
- ・ ステージを変えたコスト削減

円安の進行  
燃料油価格の低下

### 【セグメント別】 [1Q/13経常損益実績 (1Q/12比増減)]

#### 不定期専用船事業 [ 126億円 (+149億円) ]

- ドライバルク船：
    - ・ 高水準の解撤進むも、根強い船腹余剰感
    - ・ ブラジル出し鉄鉱石荷動きの低迷(～5月)
    - ⇔ ・ フリー船規模の縮小を推進  
( 2013年3月末 159隻 [39%] → 6月末 135隻 [35%] )
    - ・ フリー船隊のシンガポールでの営業・運航を本格始動
    - ・ 鉄鋼原料、電力炭、木材チップ等の長期輸送契約による安定利益を引き続き確保
- ⇒ 黒字を回復

## 2013年度 第1四半期 連結決算の要点（Ⅱ）

- 油送船 : [VLCC] 中国による遠距離ソース原油の輸入により市況は一時回復するも、概して低調。Nova Tankers Poolによる効率配船も及ばず、減益。  
[プロダクト船] 昨年秋以降上昇した市況を維持し、採算ラインに接近。  
[LPG船 /ケミカル船] シンガポールでの営業・運航を強化。  
⇒ 損益改善
- LNG船 : 長期契約を中心に引き続き安定利益を確保。
- 自動車船 : 三国間・復航貨物の積み取り等を強化。 ⇒ 増益

### コンテナ船事業 [ ▲11億円 (+13億円) ]

荷動き：北米向け・南北航路は堅調、アジア域内は好調だが、欧州向けが低調。

→ 大型船竣工が続く中、需給ギャップは拡大。 → 特に欧州航路で運賃が下落。

⇔ ・「G6アライアンス」の拡大(5月～北米東岸へ)による運航効率改善。

・コスト削減（運航費引き下げ、船舶大型化効果等）

⇒ 損益改善するも、黒字化に至らず。

### フェリー・内航事業 [ 0億円 (+2億円) ] フェリー貨物・旅客輸送量が増加。

### 関連事業 [ 29億円 (±0億円) ] 不動産事業を中心に堅調。

【コスト削減】 通期目標(全社)315億円に対し75億円を達成(達成率24%)。

【財務指標】 5四半期ぶりに改善

# 2013年度 通期 連結業績予想

(単位: 億円、実績: 億円未満切捨)

\* 2012年度決算発表時(2013年4月30日)の予想

2013年度	1Q実績		2Q見込み	上期見通し (今回予想)	上期見通し (前回予想*)	差異	下期見通し (今回予想)	下期見通し (前回予想*)	差異	通期見通し (今回予想)	通期見通し (前回予想*)	差異
	売上高	4,119	4,281	8,400	8,400	0	8,600	8,600	0	17,000	17,000	0
営業損益	114	135	250	250	0	350	350	0	600	600	0	
経常損益	152	97	250	250	0	350	350	0	600	600	0	
当期純損益	129	71	200	200	0	300	300	0	500	500	0	
為替(期中平均)	¥98.81/\$	¥98.00/\$	¥98.41/\$	¥95.00/\$	+¥3.41/\$	¥98.00/\$	¥95.00/\$	+¥3.00/\$	¥98.20/\$	¥95.00/\$	+¥3.20/\$	
燃料単価(期中平均)	\$606/MT	\$620/MT	\$613/MT	\$650/MT	△\$37/MT	\$620/MT	\$650/MT	△\$30/MT	\$616/MT	\$650/MT	△\$34/MT	

## cf. 前年度実績

(単位: 億円、億円未満切捨)

2012年度	上期			下期	通期
	1Q実績	2Q実績	実績	実績	実績
売上高	3,788	3,781	7,569	7,522	15,091
営業損益	△ 5	△ 18	△ 23	△ 133	△ 157
経常損益	△ 15	△ 52	△ 67	△ 217	△ 285
当期純損益	△ 50	△ 80	△ 130	△ 1,657	△ 1,788

為替(期中平均)	¥81.34/\$	¥79.03/\$	¥80.19/\$	¥84.44/\$	¥82.31/\$
燃料単価(期中平均)	\$695/MT	\$667/MT	\$681/MT	\$644/MT	\$662/MT

## (参考) 連結経常損益へのSensitivity

2013年度 為替Sensitivity (残り9ヶ月)

±16億円/1¥・9ヶ月 (最大)

2013年度 燃料単価Sensitivity (残り9ヶ月)

±1.2億円/1\$・9ヶ月 (最大)

【 セグメント別 】

上段	売上高
下段	経常損益

\* 2012年度決算発表時(2013年4月30日)の予想

(単位: 億円、億円未満切捨)

	上期見通し			上期見通し (前回予想*)	差異	下期見通し (今回予想)	下期見通し (前回予想*)	差異	通期見通し (今回予想)	通期見通し (前回予想*)	差異
	1Q実績	2Q見込み	(今回予想)								
不定期専用船事業	1,939 126	1,961 64	3,900 190	3,800 140	+100 +50	4,140 260	3,950 260	+190 0	8,040 450	7,750 400	+290 +50
コンテナ船事業	1,746 △ 11	1,853 16	3,600 5	3,700 55	△ 100 △ 50	3,600 45	3,800 45	△ 200 0	7,200 50	7,500 100	△ 300 △ 50
フェリー・内航事業	132 0	148 8	280 8	280 7	0 +1	260 6	250 7	+10 △ 1	540 14	530 14	10 0
関連事業	282 29	302 26	585 55	585 55	0 0	565 50	565 50	0 0	1,150 105	1,150 105	0 0
その他	17 15	17 4	35 20	35 18	0 +2	35 15	35 12	0 +3	70 35	70 30	0 +5
調整(消去・全社)	- △ 6	- △ 21	- △ 28	- △ 25	- △ 3	- △ 26	- △ 24	- △ 2	- △ 54	- △ 49	- △ 5
連結	4,119 152	4,281 97	8,400 250	8,400 250	0 0	8,600 350	8,600 350	0 0	17,000 600	17,000 600	0 0

●「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

●不定期専用船事業には、ドライバルク船部門、油送船部門、LNG船部門、自動車船部門の部門業績を含む

●関連事業には、不動産事業の他、客船、曳船、商社、人材派遣業等を含む

cf. 前年度実績

上段	売上高
下段	経常損益

(単位: 億円、実績: 億円未満切捨)

	上期			下期 実績	通期 実績
	1Q実績	2Q実績	実績		
不定期専用船事業	1,888 △ 23	1,803 △ 86	3,692 △ 109	3,619 △ 138	7,312 △ 247
コンテナ船事業	1,483 △ 24	1,545 △ 1	3,029 △ 26	3,036 △ 86	6,065 △ 112
フェリー・内航事業	127 △ 2	146 9	273 7	269 5	542 12
関連事業	270 29	268 27	539 57	557 50	1,096 107
その他	17 5	17 4	34 9	39 14	74 24
調整(消去・全社)	- 0	- △ 6	- △ 6	- △ 62	- △ 69
連結	3,788 △ 15	3,781 △ 52	7,569 △ 67	7,522 △ 217	15,091 △ 285

## 2013年度 業績予想の要点（I）

### 【概況】

- ◆ 上期・通期とも前回発表の連結業績予想を据え置き、セグメント別内訳のみ変更。

	期初(4/30)			⇒	今回(7/31)		
	上期	下期	通期経常損益		上期	下期	通期経常損益
不定期専用船	140	260	400億円		190	260	450億円
コンテナ船	55	45	100億円		5	45	50億円
合計※	250	350	600億円		250	350	600億円（変更無し）

※その他3セグメントと調整(全社・消去)を含む合計。

為替前提 : 2Q-4Q 98円/ドル (期初 1-4Q 95円/ドル)

燃料油価格前提 : 2Q-4Q 620ドル/MT (期初 1-4Q 650ドル/MT)

- ◆ 市況は各船種で底打ちの動き。(但し、本格的回復にはなお時間を要すると想定。)
- ◆ 経常利益の1Q/2Q差は、為替差損益、持分法損益※等の差による。

※LNG船のリファイナンスに伴う一時費用処理等によるもの。

### 【セグメント別】 [2013年度通期予想経常損益 (4/30発表値からの増減)]

#### 不定期専用船事業 [450億円 (+50億円)]

- ドライバルク船 : 6月～ブラジル鉄鉱石荷動きの増加  
→ 2～3Qは、季節的要因(穀物・石炭等の伸び)と相俟って、大型船を中心に一定の市況上昇を見込む。  
(ほぼ期初予想通り。)

## 2013年度 業績予想の要点（Ⅱ）

- 油送船 : [VLCC] 秋以降の需要期に向け、例年の市況回復を見込む。  
[LPG船] 米国輸出量増加等により、足元で運賃が高騰  
→ 期初市況前提を上方修正。

⇒ マーケットの中心に再配備したコスト競争力のある船隊で、有利貨物の契約へ。

### コンテナ船事業 [50億円 (- 50億円)]

- ・ 運賃 : 足元の運賃レベルに基づき期初予想を下方修正。  
但し、7月1日に欧州航路GRIが成功。2Qでは、更に同航路及び北米航路・南米航路等におけるGRI効果を見込む。
  - ・ 荷動き: 通期で積取りは期初予想をやや下回ると想定。  
但し、足元は高消席率を維持。冬季には、「G6アライアンス」等において必要に応じ減便を実施。
  - ・ コスト削減を継続。
- ⇒ 通期黒字化へ。

【配当】現時点で未定。(第2四半期決算時点の業績と経営環境を見極めた上で決定。)

[ 補足資料 ]

# ドライバルク船市況

1. 2012年度 ドライバルク船市況 (スポット契約の1日あたり備船料) 単位:USDル

船型	対象航路	2012年度				
		第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	第4四半期 実績	通期 実績
ケープサイズ	4航路平均	6,100	4,800	13,000	6,100	7,500
パナマックス	4航路平均	9,600	6,600	6,600	7,100	7,500
ハンディマックス	5航路平均	11,200	10,300	7,600	8,100	9,300
スモールハンディ	6航路平均	9,200	8,000	6,400	6,900	7,600

実績出典: The Baltic Exchange

註)・対象航路の一般的な市況実績

2. 2013年度 ドライバルク船市況前提 (スポット契約の1日あたり備船料) 単位:USDル

船型	対象航路	2013年度				
		上期		下期	通期	
		第1四半期	第2四半期			
ケープサイズ	4航路平均	6,200	11,000	8,600	12,000	10,300
パナマックス	4航路平均	7,100	7,800	7,500	8,500	8,000
ハンディマックス	5航路平均	8,100	9,300	8,700	9,000	8,900
スモールハンディ	6航路平均	6,900	8,000	7,500	7,500	7,500

実績出典: The Baltic Exchange

註)・黒字は実績(対象航路の一般的な市況実績)、青字は見通しを示す。  
 ・見通しは、当社スポット運航船(期間1年以下の輸送契約を履行)の収入算定において参照する想定市況水準。  
 但し、荷主と運賃を合意済みの場合は合意運賃を損益予想に使用。  
 ・パナマックス以下の船型については、海外子会社で損益を計上する為、暦年ベース(1-12月)の実績・見通しを表示。

# 油送船市況

## 1. 2012年度 油送船市況 (スポット契約の運賃指標)

単位:ワールドスケール(WS)

船型	WS参照年	2012年度				
		第1四半期 実績 (*1)	第2四半期 実績 (*1)	第3四半期 実績 (*1)	第4四半期 実績 (*1)	通期 実績 (*1)
原油船 (VLCC)	2012年ベース	55	36	43	38	43
【Arabian Gulf - East】	(2013年ベース)	(50)	(33)	(39)	(35)	(39)
石油製品船 (MR型)	2012年ベース	125	123	151	155	138
【Singapore - Japan】	(2013年ベース)	(115)	(113)	(138)	(142)	(127)

実績出典: The Baltic Exchange

## 2. 2013年度 油送船市況前提 (スポット契約の運賃指標)

単位:ワールドスケール(WS)

船型	WS参照年	2013年度				
		上期		見通し (*2)	見通し (*2)	見通し (*2)
		第1四半期 実績 (*1)	第2四半期 見通し (*2)			
原油船 (VLCC)	2013年ベース	37	39	38	42	40
【Arabian Gulf - East】						
石油製品船 (MR型)	2013年ベース	139				
【Singapore - Japan】						

実績出典: The Baltic Exchange

(\*1)対象航路の一般的な市況実績

(\*2)当社スポット運航船(期間1年以下の輸送契約を履行)の収入算定において参照する中東/極東航路の想定運賃レベル。

但し、荷主と運賃を事前に合意済みの航海については合意運賃を損益予想に使用。

# 自動車輸送台数

## 1. 2012年度(実績)

(1,000台)

(完了ベース/航海備船を含む)	2012年度						通期
	上期			下期			
	第1四半期	第2四半期		第3四半期	第4四半期		
合計	1,004	977	1,981	972	956	1,928	3,908

## 2. 2013年度(実績・予想)

(1,000台)

(完了ベース/航海備船を含む)	2013年度					通期見通し (A)+(B)
	第1四半期		上期	下期		
	実績	見通し	見通し(A)	見通し(B)		
合計	957	949	1,906	1,912		3,818

# 主要コンテナ船航路 消席状況・運賃推移

## 北米航路(アジア/北米)

(単位:1000TEU)

		2012年度					2013年度				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
往	スペース	146	164	153	153	617	167				
	積高	136	150	135	141	562	154				
	消席率	93%	91%	88%	92%	91%	92%				
復	スペース	137	160	156	153	606	164				
	積高	84	85	93	101	363	88				
	消席率	61%	53%	59%	66%	60%	54%				

## 欧州航路(アジア/欧州)

		2012年度					2013年度				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
往	スペース	108	126	108	113	455	113				
	積高	97	116	91	103	407	98				
	消席率	90%	92%	84%	91%	89%	87%				
復	スペース	107	119	112	108	446	113				
	積高	77	76	73	67	293	75				
	消席率	71%	64%	66%	62%	66%	66%				

## 運賃推移(指数表示 2008年度 第1四半期=100)

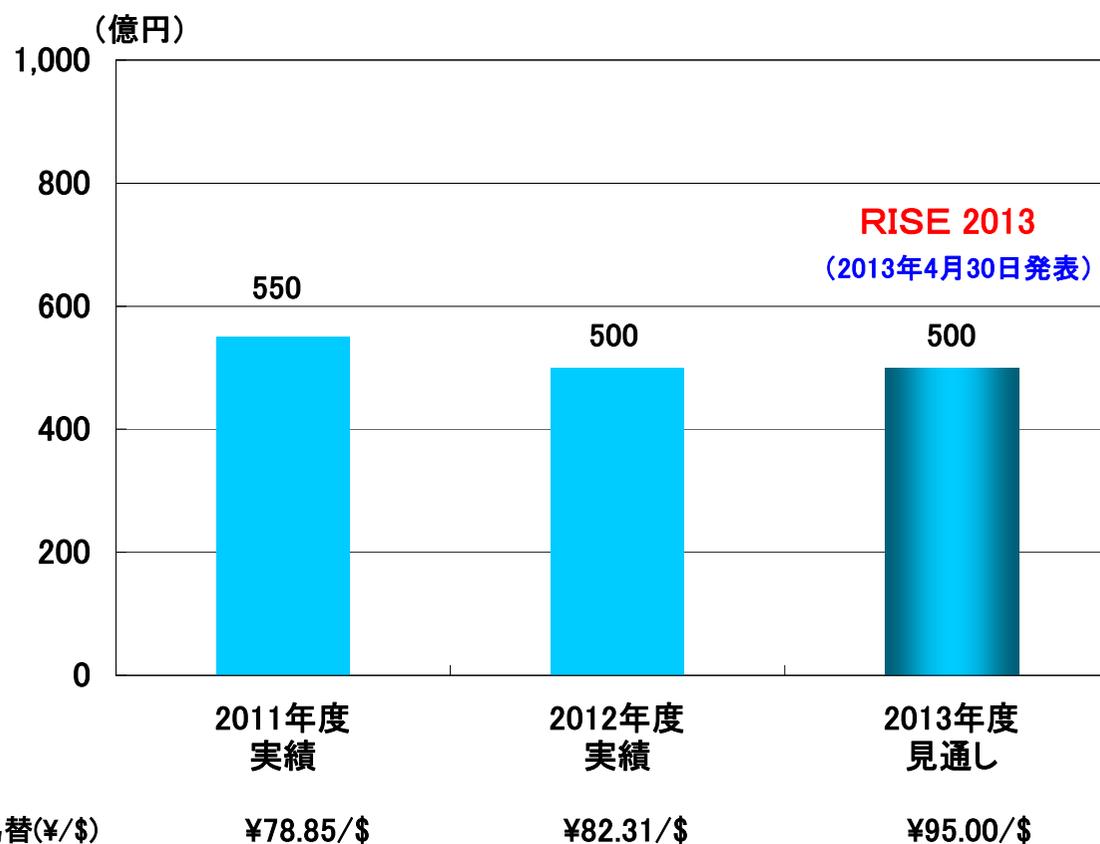
	2012年度				2013年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
全航路平均	90	91	87	87	85			
燃料単価(\$/MT)	695	667	658	631	606			

# 船隊構成

		2012年9月末	2013年3月末	2013年6月末		2014年3月末 (見込み) 隻数	
		隻数	隻数	隻数	1,000dwt		
ドライ バルク船	撤積み船	Capesize	106	103	98	18,614	
		Panamax	44	38	33	2,791	
		Handymax	69	68	63	3,478	
		Small Handy	51	52	52	1,725	
	重量物船	重量物船	6	6	6	74	
		木材チップ船	49	44	44	2,306	
		石炭船	39	41	40	3,566	
		一般貨物船	50	52	46	765	
		(小計)	414	404	382	33,318	362
	(内、フリー船)	(170)	(159)	(135)	-	(110)	
油送船	原油タンカー	47	47	42	11,883		
	プロダクトタンカー	64	61	61	3,513		
	ケミカルタンカー	77	75	72	1,982		
	LPGタンカー	13	11	11	573		
	(小計)	201	194	186	17,952	179	
	(内、フリー船)	(80)	(74)	(70)	-	(60)	
LNG船		68	69	68	5,326	68	
自動車船		131	127	127	2,050	122	
コンテナ船		116	115	114	6,626	116	
フェリー・内航船		46	44	41	153		
客船		2	2	2	10	44	
その他		3	3	2	13		
合計		981	958	922	65,447	891	

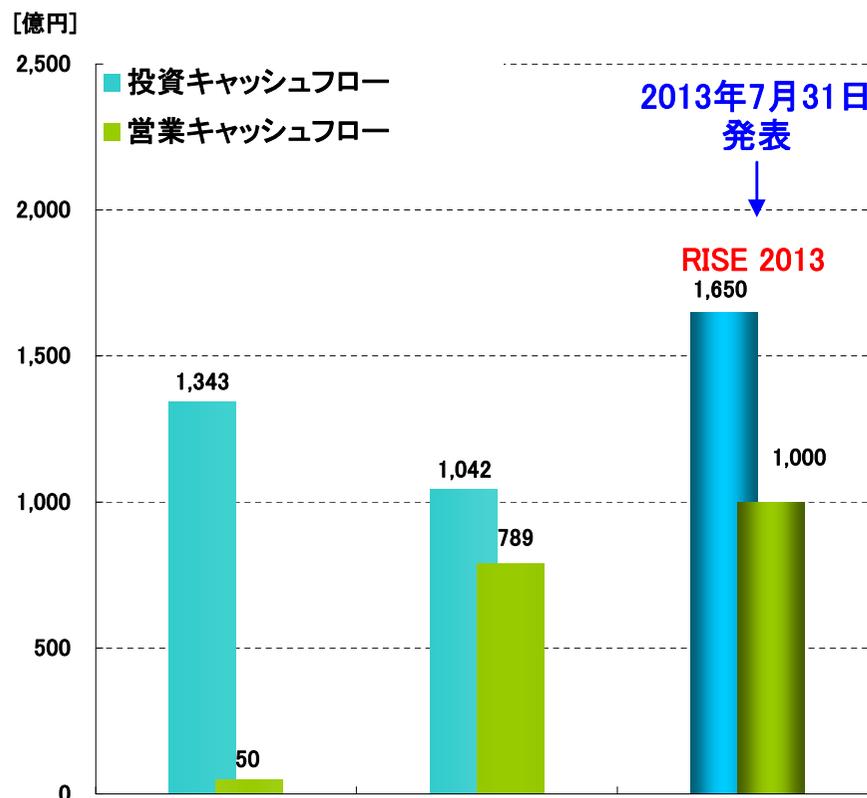
註) 短期傭船(5年以下)、J/V保有船を含む

# 安定利益



『安定利益』=1年を超える中長期契約により確定している利益、及び安定性の高い事業の利益  
(対象部門:ドライバルク船、油送船、LNG船、関連事業、その他事業)

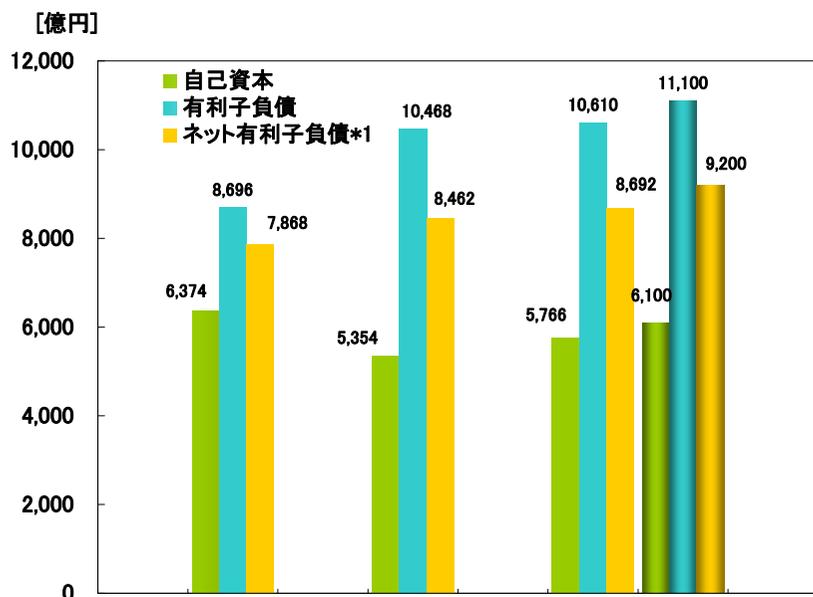
# キャッシュフロー



	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 見通し
平均為替(¥/\$)	78.85	82.31	98.20
経常損益(億円)	△ 243	△ 285	600
当期純損益(億円)	△ 260	△ 1,788	500

※ 本表の投資キャッシュフローと営業キャッシュフローの差額(=フリーキャッシュフロー)に  
 配当支払を加味した数字が、次頁左側グラフのネット有利子負債額の変動に相当する。

# 財務計画

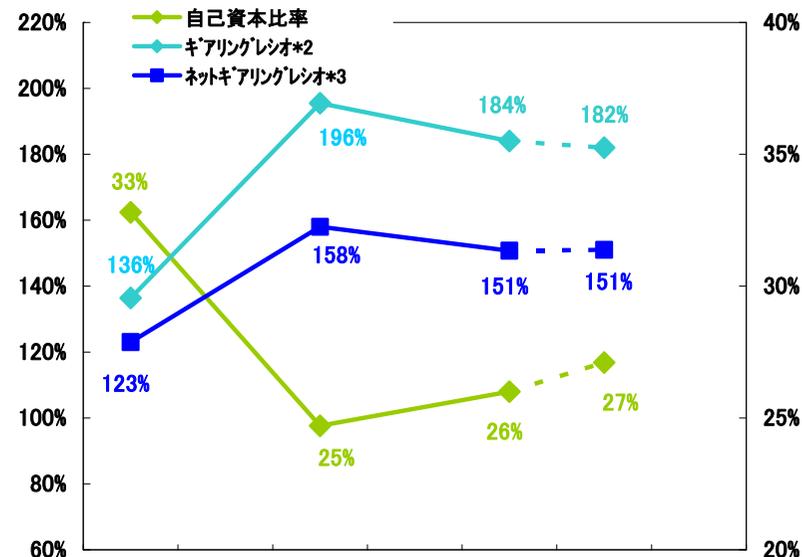


	2011年度末		2012年度末		2013年度	
	実績		実績		6月末 実績	年度末 見通し
期末為替(¥/\$)					2013年7月31日発表 (2013年8月9日訂正)	
単体	82.19	94.05	98.59	98.00		
海外会社	77.74	86.58	94.05	98.00		

\*1) ネット有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び現金同等物

[ギアリングレシオ/ネットギアリングレシオ]

[自己資本比率]



	2011年度末		2012年度末		2013年度	
	実績		実績		6月末 実績	年度末 見通し
					2013年7月31日発表 (2013年8月9日訂正)	

\*2) ギアリングレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本

\*3) ネットギアリングレシオ = (有利子負債 - 現金及び現金同等物) ÷ 自己資本

# 連結 営業外・特別損益／単体 運航費

## 1. 連結 営業外収益・費用明細 (2013年度 第1四半期) (億円)

営業外収益 93		営業外費用 55	
うち:		うち:	
受取利息	5	支払利息	32
受取配当金	29	持分法による投資損失	18
為替差益	25	その他営業外費用	4
デリバティブ評価益	6		
コンテナ売却益	19		
その他営業外収益	6		

## 2. 連結 特別利益・損失明細 (2013年度 第1四半期) (億円)

特別利益 52		特別損失 46	
うち:		うち:	
固定資産売却益	39	固定資産売却損	28
その他特別利益	13	固定資産除却損	9
		その他特別損失	7

## 3. 単体 運航費明細

	2013年度 第1四半期	2012年度 第1四半期
港費	210	183
貨物費計	561	478
内訳: 荷役費及び接続費	507	430
歩金仲介料	42	38
一般貨物費	11	9
燃料費	720	731
雑費	10	9
合計	1,502	1,404

**【MEMO】**